

厚生省 兵庫県 神戸市 主催  
全国健康福祉祭推進協議会

## 〈第1回〉全国健康福祉祭 ひょうご大会 今秋開催が決まる

全国健康福祉祭第1回大会は下記の要項により、  
この秋、兵庫県下各地で開催されることになった。

テーマ：『いのち輝く長寿社会』

会期：昭和63年10月30日(日)～11月2日(水)

会場：神戸市 姫路市 西宮市 宝塚市 氷上郡柏原町

参加予定人数：延べ約79,000人(個別イベントを除く)

### 『いま、夢中世代。』

全国からたくさんの方々のシニアエイジたちが集い、積極的に心と体の健康づくり、生きがいづくりをすすめる全国で初めての大会です。

多くの経験と豊かな知恵をもつ人生のベテランたち。この高齢者一人ひとりが健康で社会参加することが、活力ある長寿社会を確立する第一歩といえるでしょう。「全国健康福祉祭ひょうご大会」は、高齢者の「自立と交流」という基本理念のもと、長寿社会の課題のひとつである「健康と福祉」に焦点をあてた全国で初めての大会。兵庫県の各会場で「いのち輝く長寿社会」を目指し、様々なイベントが開催されます。これらを通じて人生80年時代の社会づくりを、より一層進めていきます。

### 式典・フェスティバル

開催日/10月30日 会場/神戸ポートアイランドホール(神戸市)

参加予定人数/5,000人

記念式典のあと、「いのち輝く長寿社会」をイメージした歌謡フェスティバルを開催します。

### スポーツ交流大会

参加予定人数/8,000人

卓球 開催日/10月31日～11月2日  
会場/神戸市立中央体育館(神戸市)

テニス 開催日/10月31日～11月2日  
会場/神戸総合運動公園(神戸市)

軟式庭球 開催日/10月31日～11月2日  
会場/しあわせの村(神戸市)

ソフトボール 開催日/10月31日～11月2日  
会場/武庫川学院グラウンド(西宮市)  
兵庫県医科大学グラウンド(西宮市)

ゲートボール 開催日/10月31日～11月2日  
会場/姫路市立球技スポーツセンター(姫路市)

ベタンク 開催日/11月1・2日  
会場/県立丹波文化会館(柏原町)

ゴルフ 開催日/10月31日  
会場/宝塚ゴルフ倶楽部(宝塚市)

記念マラソン 開催日/11月2日  
会場/神戸総合運動公園(神戸市)

スポーツを楽しむ親善・交流試合と、各種のデモンストレーションを行い、高齢者にふさわしいスポーツの普及啓発を図ります。

### デモンストレーション

- ①女子大生との交歓試合——ソフトボール、ゲートボール
- ②国際交流試合——卓球、テニス、ベタンク
- ③模範試合——卓球、テニス、軟式庭球、ゴルフ、記念マラソン
- ④世代間交流——記念マラソン(3km、5km、10km)

### 健康づくり指導教室

卓球・テニス・軟式庭球 開催日/10月31日～11月2日

ベタンク 開催日/11月1・2日

ゴルフ 開催日/10月31日

記念マラソン 開催日/11月2日

ほか、ふれあいスポーツフェア 健康フェア

### ▷テニス交流大会 開催要領

主管 全国健康福祉祭神戸市実行委員会

運営 兵庫県テニス協会

運営協力 関西テニス協会、神戸市テニス協会

大会期日 10月31日(月)～11月2日(水) 3日間

会場 神戸市総合運動公園テニスコート

参加チーム 各都道府県・指定都市 計57チーム

#### 日程

(1)開会式 10月31日(月) 9時

(2)交流試合 予選リーグ戦 第2日午前まで

決勝トーナメント 第2日午後から

(3)閉会式、表彰式 11月2日(水)12時

#### 競技方法

(1)チーム対抗の団体戦

(2)チーム編成 監督1名 選手6名(男子(60才以上)、(65才以上)、女子(60才以上)各ダブルス1組づつ) 補欠選手2名(選手の監督兼任は可)

(3)1セットマッチ(6ゲ-4ボール、12ホ-イントタイブレーク)

(4)ブロック別予選リーグ勝者による決勝トーナメントを行なう

表彰 (1)上位チーム(決勝トーナメント進出チーム)に優秀賞

(2)1位から3位のチームにメダル

(3)その他、敢闘賞、特別賞あり

参加申し込み 各都道府県、指定都市の主管部局が

取りまとめて行なう

その他 国際交流試合、親善試合、健康づくり指導教室が開催される

★県当局の委嘱を受けた県テニス協会からは、当壮年テニス連盟に対しても協力要請がありましたので、運営委員会でのこの企画を検討した結果、当連盟結成の趣旨に相通じるところが多いので積極的に協力することにし、年齢条件を充たす会員の名簿を提供しましたが、選手選考については全く関与しておりませんので、念のため付記致します。

昭和63年度宮城県壮年テニス連盟

年間行事予定表

宮城県壮年テニス連盟		東北、宮城県、仙台市テニス協会関係	
月 日		月 日	
4 24	月例会	4 16,17	東北ダブルステニス選手権(SUGO) M45,M55,W40
5 22	<u>年齢別ダブルス大会</u>	5 7,8 17,18	県春期テニストーナメント(県営コート)M45S,D.M55D 桑名杯レディーストーナメント(県営コート)
6 26	月例会	6 11,12,25,26	仙台市民テニス大会 M45S,D.M55D 18~21 IBM宮城県シングルス選手権 M45(泉パーク)
7 31	月例会	7 9,10,24 7 16~18	仙台市民テニス大会(県営コート) 国体県予選 M45S,D
8 28	<u>混合ダブルス大会</u>	8 13,14	県体テニス競技シングルス(県営コート)
9 15	対 女子連対抗戦	9 6~8	朝日レディース県予選(県営コート)
9 25	対 いわきバドランTC 親善試合(サルト蔵王)	9 10,11	東北シングルス選手権(山形蔵王) M45S
10 16	<u>技量別ダブルス大会</u>	10 1,2 10 4~7 10 29,30	宮城県テニス選手権 M45S,D.M55D.W40S,D 宮城県レディーステニストーナメント(県営コート) 県体テニス競技ダブルス(県営コート)
11 3	月例会		
12 3	懇親会(予定)		
12 ~ 3	室内ダブルスを楽しむ会 (予定)	1	宮城県室内選抜ダブルス選手権 (仙台市体育館) M45,W40

宮城県壮年テニス連盟の各大会の会場は市営青葉山公園庭球場を予定しております。

なお、各行事のご案内はその都度郵便等で連絡申し上げます。

記号:M~男子、W~女子、S~シングルス、D~ダブルス、40,45,50~各年齢以上

◎上記のほか、**Weekday**交歓会は今年から5~10月の間、毎月1回定期的に開催されることになりました。開催日は毎月第2水曜日または木曜日を交互に選ぶよう、過日の委員総会で申し合わされました。8月は水曜日の予定で、8月10日青葉山公園テニスコートで開かれる見込みです。

◇ 競技会記録 ◇

第3回年齢別ダブルス大会

5月22日(日) 青葉山公園庭球場

今年は好天候に恵まれ、コート6面をフルに使って予定通り挙行された。参加者は男子65才以上7組、55才以上2組、50才以上4組、45才以上6組、女子は50才以上3組、45才以上5組、40才以上2組の、合計29組で、和やかなうちにも熱戦が展開された。各年令層ごとに、リーグ戦、あるいはこれにトナメント方式を交えて優勝が争われた。実力伯仲の好試合が多く、参加者が熱く燃えた一日であった。

◇女子50才以上

優勝 石川トヨ子、北島とよ組  
2位 高橋哲子、今野恵美子組  
3位 菊田絢子、平井郁子組

◇女子45才以上

優勝 玉置雪枝、渋谷陽子組 4勝  
2位 菅野志津子、井沢三幸組 3勝  
3位 田中英子、中山八重子組 2勝

◇女子40才以上

優勝 武田孝子、八尾圭子組  
2位 小田島美代子、岡崎幸子組

◇男子65才以上 (予備リーグ+決勝トナメント)

優勝 久保寿一、室賀 創組  
2位 中鉢不二男、新藤英雄組  
3位 神吉寛一、上山 弘組

◇男子55才以上

優勝 多久堯一、守田 忠組  
2位 高橋恒男、矢野南巳男組

◇男子50才以上

優勝 渡辺博茂、五島健雄組 5勝  
2位 井沢秀雄、酒井秀章組 4勝  
3位 伊勢重男、谷岡勝弘組 2勝

◇男子45才以上 (予選リーグ+決勝トナメント)

優勝 大賀延行、長田輝男組  
2位 中村克宏、工藤東洋雄組  
3位 高橋正義、川口温弘組

この他、入賞は逸しましたが、

吉沢幸雄、川上秀之組 花渕武雄、瀬野尾秩組  
岩月賢一、浅野正次組 渡辺三郎、加藤文二組  
北島 宏、菅野義治組 竹内道子、坂爪ミヤ組  
谷岡 栄、加藤悦子組 志間弘治、斉藤昭男組  
佐々木満博、竹内鍊一組

のペアは当連盟の趣旨に沿って、スポーツを楽しみ最後まで敢闘されたことを記録に残しておきます。

第1回月例会 4月24日(日)

青葉山公園庭球場

壮年連盟の今年度コート開きともいふべき今年初の月例会は、好天にも恵まれ、満開の桜を楽しみながら和やかに開催されました。参加者は、午前50名、午後は43名でした。

第2回月例会 6月26日(日)

雨のため中止

第1回Weekday交歓会 6月8日(水)

青葉山公園庭球場(コート3面)にて開催。32名参加。

第2回Weekday交歓会 7月14日(木)

東北電力総合研究所のご好意により、同所テニスコートで開催予定でしたが、小雨のため中止。

◇ 諸 報 告 ◇

第4回委員総会

第4回(昭和63年度前期)委員総会は4月9日(土)午後3時半から東北大学科学計測研究所小会議室で開催されました。会議の概要をご報告致します。

◆出席者 神吉委員長

(クラブ等グループ代表委員)

飯野 雅(萩庭会) 井沢秀雄(7777TC)  
石亀希男(東北大科研) 長田輝夫(東北大工)  
川上秀之(丸田沢TC) 河野浩子(電力中山)  
渋谷陽子(南ウタ-TC) 清水英子(家庭婦人)  
玉置康雄(南ウタ-TC) 中鉢不二男(青葉台TC)  
山本 忠(東北ファミリーTC)

(運営委員)井沢三幸、伊藤一利、上山 弘、  
菅野志津子、新藤英雄、中村克宏、矢田慶治  
(幹事)大賀延之、高橋龍夫、山内 宏

◆協議事項

- (1) 63年度競技会計画 別表の通り決定した。なお、Weekday交歓会は5~10月の間、毎月第2水曜または木曜に(交互に)開催することになった。
- (2) 会報の発行計画 経費節減のため、4~6ページのものを年2回程度発行することになった。
- (3) 62年度決算 別掲の通り承認された。
- (4) 63年度予算 別掲の通り承認され、同時に今年度会費は昨年と同じく、単体会員 2,000円、家族会員1組 3,000円と決められた。
- (5) その他 クラブ委員から ①会費の納入方法 ②会員相互に名前を知り合う方法 ③県の公式戦に会員がもっと参加しては ④Weekday交歓会には一部の人しか参加できないが、遠慮しないでやってもよいのではないか 等々のご意見があり、運営委員会はこれを参考に、今後の運営に当たることとした。

## 昭和63年度予算について

連盟創設以来、過去2年間の予算編成の特徴は、集まった年会費の総てを事務・通信連絡・会報等の経費に当て、競技会の運営は競技会参加料で賄うという独立採算制を採ったことでした。これも連盟財政の予測が困難な段階ではやむを得ない方策であったと思います。壮年テニス連盟も3年目を迎え、会員数は順調に増加し、財政的にも安定の兆しが見えてきましたので、過去の決算の内容を吟味しながら、この辺で当連盟の財政の基礎固めをしたい、との考えから63年度の予算編成しました。過日の委員総会でもご賛同を頂きましたが、会員の皆様には会報を通じてご説明申し上げ、今後ともご協力をお願いしたいと思います。

会員の少なかった初年度では、連盟の結成事務に要した臨時的経費を含みながらも、事務的経費は年会費収入で十分に賄うことができた上に若干の剰余さえ生じました。従って、昨年度に現れたこの不均衡は、このままでは会員数の増加と共に連盟の財政が窮屈になる可能性を示唆しております。従って、今年は経費の節減を図る一方で、場合によっては年会費の値上げも考えざるを得ない環境に置かれたこととなります。すなわち、競技会の経費が連盟財政の重荷にならないよう、これを独立採算制にした当初の心配とは逆に、むしろ事務的経費の見直しが急務ということになりました。

問題の第二は、これまで連盟創設時の特殊事情に免じて、本来は連盟自体が当然負担するべき経費や労力を一部の個人の好意に甘えてきました。このことについてもこの機会に是非とも正常化し、今後、多くの方々が交代で委員を務められるとき、支障のないよう基礎を固めるべきかと考える次第です。

以上の二点を改善するべく、今年度の予算編成において特に留意した点を幾つか具体的に挙げておきます。

(1) 経費の節約により会費の値上げを回避しました。

(2) 競技会の独立採算制を廃止し、競技会参加料を収入の費目に加えて合算することにしました。(このことは、当連盟規約「第6条 本会の活動に必要な経費は正会員の納める年会費、競技会講習会ごとに徴収する参加費、およびその他の寄付金を以てあてる。」に文字通り従うこととなります。)但し、ウイング交友会など、全員が対象ではない催しは独立採算を建前とします。

(3) 支出の部で、今まで一部の個人の好意に頼ってきた経費を一般経費に計上しました。その主なものは、予算表備考欄に記述の通り、コピー代、電話料、会報版下製作費等です。

(4) 会報は実用性と速報性を重んじ、小数頁の会報を年間延12頁程度の発行を見込み、従来の”お知らせ”と相補的な役割も果たせて郵便料の節約を図ることにしました。

(5) 今年度支出費目に新たにコート借料と競技会運営費を設けました。コート借料は、年間のスケジュールを全部消化するに必要な料金を計上しました。もし、雨天のため中止になった場合は、これらの費用が縮小しますが、一方で参加料収入も縮小することになります。競技会関係費用が余った場合は、他の代替の競技会を催すなり、不測の事情で不足した他の経費を補うなり、融通性を残し、活発な連盟運営を保ちたいと考えます。

(6) 一般的事務経費は年会費収入より少なく抑えましたので、会員が増えればそれだけ財政にゆとりが生じる見込みです。

(7) 会員総数は昨年と変わらないとして諸費を見積りました。

運営委員(会計担当) 上山 弘

## 会員異動 (7月7日までの受付分)

◇前号会報のお知らせ以降、新たに次の方々が加盟されましたのでご紹介します。(加盟順)

氏名	勤務先	所属クラブ
安部彦人	仙台中央郵便	
安部英子		
武田 暁	東北大理学部	
竹内 鍊一	帝国機器製菓	
竹内道子		
渡辺紀予子		
伊勢重男	刈田総合病院	白石庭球協会
和田武士	JR清算事業団	
和田美代子		
大黒 茂	八戸工大	
大黒紀子		
今野 幾二郎	いずみ産業	
今野 恵美子		
佐々木 満博	東北開発	
菊池 格	保健環境センター	六丁目TC
加藤文二	八宮荘	
伊藤久子		キリンSC
守田 忠	山武北山建設	
小野 泰祐		
北 畠 宏	日本気象協会	
北 畠 さと		
後藤 真一	JR東日本	
後藤 玉子		
倉橋 俊之	エイ電子	
小幡 勝利	航空自衛松島	
小幡 さよ子		
中山 悦次	宮城県庁	

◆次の方々は退会されました。

落合忠夫(都合) 渡辺康晴、渡辺都弥子(転勤) 高橋仁弥(都合)

木村宏、木村章子(都合) 大高弘、大高幸子(転勤)

◎以上の結果、会員総数は 246名(男性 166名、女性 80名、家族 104名)となりました。

## Weekday交歓会について

年間予定表にも注記しましたが、Weekday交歓会は5～10月の間、毎月第2水曜日または木曜日を選択し、定期的開催されています。今後の日程は、8月10日(水)および9月8日(木)に、いずれも青葉山公園庭球場で開催することが決まっております。時間は10～15時の間、希望者は前以って申し込みの必要はなく、自分の好きな時間に自由に参加し

てゲームを楽しむことにしております。10月は12日(水)の順になりますが、場所を変えてみたいとの趣向もありますので未確定です。

毎回のご案内は、連盟加入申込書の「Weekday交歓会希望欄」にシールを付けた方にのみお送りしておりますが、今後の案内ご希望の方、または案内ご不用の方は事務局にご一報下さるようお願いいたします。

## その他

### ◆グループ代表委員の交代

丸田テニスクラブの代表委員は渡辺博茂氏から川上秀之氏に交代するとのお申し出が同クラブからありました。

### ◆昭和63年度運営委員の役割分担

委員長 神吉寛一 副委員長 上山 弘  
競技会 川口温弘(主任)、井沢三幸、伊藤一利、菅野志津子、  
新藤英雄、中村克宏  
庶務 新藤英雄(主任)、中村克宏、矢田慶治  
会計 上山 弘(主任)、伊藤一利、菅野志津子、川口温弘  
広報 矢田慶治(主任)、井沢三幸、上山 弘、中村克宏  
その他、種々の実務担当のため、昨年までの  
高橋龍夫、山内 宏の2氏の加え大賀延行氏に幹事を委嘱した。

## テニス ルール ミニ・メモ 2 (監修 山内 宏)

### タイプレックについて

普通の1セットの場合、規則では、「相手に2ゲーム以上の差をつけて先に6ゲームを取った方を勝とするが、6ゲームを得ても差が2ゲーム以上ないときは、2ゲームの差が生じるまで試合を続ける」ことになっている。しかし、そうすると試合が延々と続く場合もあり、日程等の都合で試合時間を制約する必要のあるとき、よくタイプレック スコア方式(タイプレック)が採用される。

タイプレックはスコアが6ゲーム オールになったときに実施し、得たポイント数(0,1,2,3,...)でカウントを数える。2ポイント以上の差をつけて7ポイントを取った方がそのゲームとセット(1セットマッチではその試合)の勝者となる。6ポイント オールになったら2ポイントの差がつくまでゲームを続ける。こうしてタイプレックで決着したセットのゲームスコアは7-6と記録する。

### ★サービス順とポイントの交代

ダブルスゲーム いま、A&B組対X&Y組が対戦し、A、X、B、Yのサービス順で試合は進行し、第12ゲームをYのサービスで終わったところで6ゲーム オールとなりタイプレックが始まるとする。

タイプレック最初のサービスは(Yの次の番の)Aで、Aは自分側の右サイドから相手のフアサイドにサーブする。Aのサービスは1ポイントだけで終わる。

第2、第3ポイント目は次のサービス順のXがサーブで、Xは初めのポイントは自分側の左サイドから相手のバックサイドへ、次のポイントは自分側右サイドから相手のフアサイドにサーブする。その後は、B、Y、A、X...の順に2ポイント毎にサーブは交代し、各々初めのポイントはバックサイドへ、次はフアサイドの順にサーブする。

シングルゲーム シングルでもダブルスに準じて、最初だけは1ポイントでサーブが交代し、以後は2ポイントづつ交互にサーブする。

ポイントの交代 タイプレック中のコートチェンジは、双方のポイント合わせて6毎に(双方の合計ポイントが6の倍数になる毎に)ポイントの交代し、さらに、タイプレックが終わった時にも交代する。

### ★次のセットのサービス順

タイプレックで第1ポイントのサーブとなったプレーヤー(または組)は次のセットの第1ゲームのレシーバーになる。

(参考:ダブルスの場合、前のセットがタイプレックであったか否かに拘らず、新しいセットの開始に際し、サーブ側はどちらのプレーヤーが先にサーブになってもよく、レシーバー側は左右のレシーブ順を前のセットと変えてもよい。第2ゲームのサーブ、レシーブも同じことができるが、その後はそのセットが終わるまで変更できない。)

### ★タイプレックの仕方を間違えたらどうするか

- (1)ポイントの交代を忘れた(間違えた)...気づいたら直ちに正す。
- (2)サーブの順序を間違えた...
  - a)1ポイントだけをプレーした場合、そのポイントは有効であるが、残りのポイントについては正しい順番のサーブがサーブする。
  - b)第1または第2ポイント目の第1サービスがフォルトしたところで誤りに気づいた...
    - 正しい順番が相手側のときは、フォルトを取り消し、正しいサーブが残りのポイントについてサーブする。
    - 正しい順番が味方のサーブのときは、直ちに正しいサーブに代わり第2サービスからサーブする。
  - c)第2ポイント目のボールがインプレーに入った後に誤りに気づいた場合は、サービス順は入れ替わったままにする。
- (3)ダブルス タイプレックで、パートナーが順序を間違えてレシーブした...
  - a)1ポイントだけをプレーした場合、そのポイントは有効とし、直ちに誤りを正す。(参考:通常ゲームではそのゲームの終了まで入れ替わったままプレーを続ける。)
  - b)第2ポイント目のボールがインプレーに入った後に間違いに気づいた場合、レシーブ順は入れ替わったままにする。
- (4)タイプレック制を採用すると、試合前に決められ発表されていたのに、6ゲーム オールの後、第13ゲームを普通のゲーム方式で始めてしまった...
  - a)第2ポイント目のボールがインプレーに入る前に間違いに気づいたら、第1ポイントはカウントし、間違いを直ちに正す。この際、第2ポイント目の第1サービスがフォルトになったところで間違いに気づいたら、このフォルトは取り消し、この場合に適合したプレーヤーがサービスをを行い、タイプレックでプレーする。
  - b)第2ポイント目のボールがインプレーになった後に誤りに気づいた場合は、そのまま延長セット方式でゲームを続け、2ゲームの差がついてこのセットの決着がつく前に、8ゲーム オールになったら、そこでタイプレックに入る。(シングル、ダブルス 共)
- (5)延長セット方式で試合をすると、試合前に決められ発表されていたのに、6ゲーム オールの後、タイプレックを始めた...
  - a)第2ポイント目がインプレーになる前に気づいたら、第1ポイントはカウントし、間違いを正す。第2ポイント目の第1サービスがフォルトになったところで気づいたら、このフォルトを取り消し、この場合に適合したプレーヤーがサーブとなり通常のゲームを行う。
  - b)第2ポイント目がインプレーになった後に誤りに気づいた場合は、タイプレック方式でゲームを行う。

### 編集後記

▽少しスタイルを変え、簡単な会報を速くと心掛けましたが変わり映えもなく、発行も遅れてご迷惑をかけました。

▽会員の自由投稿は今後も歓迎です。所感、紹介、報告、ご意見などの原稿を随時お送り下さい。